

小高交流授業報告

3年生ピオトープ選択生徒（男子 10 名・女子 1 名）が 田尻小学校・歌垣小学校を訪問しました

能勢高校の生徒が地元小学校（能勢町立田尻小・歌垣小の3・4年生）に対して高校で研究している「アカハライモリ」の授業を行いました。

第一回は田尻小学校の3・4年生（児童数5名）に「イモリのふしぎ」をテーマに約40分の授業を行いました。小学生は様々な質問を本校生に投げかけ、予想していなかった問いもあって、なかには答えに窮する場面もありました。でも、授業が終わるところにはすっかり仲良しになっていました。

第二回は歌垣小学校の3・4年生（児童数21名）に高校生の研究授業を聴いてもらいました。前回の反省を踏まえて、「イモリテスト」を用意して高校生と小学生が一緒に考える時間を設けました。児童数が4倍になりましたので、高校生一人ひとりの親切丁寧な説明が交流授業の重要なポイントです。授業の初めはお互いに緊張していましたが、イモリの泳ぎ方や体重測定を高校生と体験して楽しく過ごし、最後のイモリテストの答え合わせまで仲良くできましたと思います。

この取り組みにより改善を要する点が判りましたので、3学期には、この経験も含め、論文として発表する予定です。

（農業科 藤田和久）



